

学校と地域住民、保護者等が連携・協働する学校運営を創造する

1月19日、コミュニティスクール勉強会を開催

東広島市内の各小学校・中学校で導入が進められているコミュニティ・スクール(学校運営協議会制度)について、吉川小学校



【CS勉強会の模様】

への導入を検討する準備会が、1月19日午後5時から吉川地域センターで開催されました。

準備会は勉強会と準備会設置を目的として開催されました。最初に、広島大学大学院の林教授と市教育委員会の本岡参事から、「コミュニティ・スクールとは」と題し「メリット・魅力・仕組み・市の設置方針」等のお話を聞きました。この中で、林教授か



【林教授と本岡参事】



右GW

らは、「主人公の子どもと関わる仕組みを地域の宝物の中で育てること、NOIでなくともオンリーワンを育てる気持ちをもつことが大切」との話が

ありました。本岡参事からは、コミュニティ・スクール導入のポイントとして、①学校・地域及び保護者にメリットがある、②地域が抱える課題の多様性に対応する、③すべては子供のため、を強調されました。吉川小学校は、市教育委員会の方針で、複式となった場合は統合の可能性のある小学校であることに変化はありません。



【放課後 子供教室】

とは言え、コミュニティ・スクールの導入について地元自治協議会としては、子育てに中断はなく、より充実した環境を継続して提供し続けることが重要かつ優先課題と認識し取り組んでいます。

従って、市内全域に導入される令和6年度を待つことなく、地元として、関係者と主体的に熟議し、先行導入を自治協議会の事業方針としています。



古地図で地域名等を確認
第5回吉川史跡保存会を1月15日、13名で開催しました。

古地図で地域名等を確認 第5回吉川史跡保存会

第5回吉川史跡保存会を1月15日、13名で開催しました。

今回(第4講)は、吉川地域の地名・屋号などの呼び名を通して



右 大正14年版 国土地理院地図

て地域の歴史を学ぶ会としました。吉川の古地図(文政2年版・明治31年版)と、大正14年版国土地理院地図から、道路・河川・ため池・山林などの位置を確かめつつ地域名を確認していきました。続いて参加者が確認できた屋号(江戸時代、武士以外の者が

よしかわだより

令和3年1月25日(2020-10)



発行者:吉川まちづくり自治協議会
☎082-429-1879(吉川地域センター内)
yoshikawa.jitiky@outlook.jp

第5回吉川工業団地西側区域開発地権者会役員会を1月24日開催しました。役員会は公開で開催し、役員9名の他地権者9名が参加しました。

今回の地権者会は、第4回役員会で、開発主体のマイクロン社から説明のあった事項を受けて地元としての考え方を整理することを主要なテーマとしました。最初に、これまでに

説明があった内容を確認し意見を交換しました。出席者からは、「今も騒音等があり新たな施設が稼働することになっていきます。合つてくこととしました。なおエリア内西の墓地は引続きマイクロン社側が検討することとなっています。

これから具体的な対応について話し合う
工業団地西側区域開発地権者会
することに懸念がある。地域の不安を解消し、地域のためになる開発が前提」とする意見があり、これを基本に今後協議を進めることを確認。その上で、具体的協議案件をまとめ、マイクロン社に提示し話



【地権者会の模様】

議論は公開で進めます。準備会メンバーは次の通り(敬称略)
(座長)広島大学大学院名誉教授・林孝
(副座長)自治協会長・村主武彦、
(事務局)吉川小学校校長・木村由起枝、自治協事務局長・角谷勉(委員)農事組合法人よしかわ代表理事・横山信明、マイクロン・モリジャパン社・シニア・ダイレクター・秋山裕明、吉川財産区議長・光森映明、地区社協会長・大和至誠、吉川小学校PTA会長・田村洋、吉川小学校教頭・児玉みどり、吉川地域センター長・田村明、自治協総務広報副部長・平崎朱美

地域の住宅地化推進策を話合おう

第16回活性化PJ T会議を開催

第16回吉川地域活性化プロジェクトチーム会議を1月14日午後5時よりメンバー10名で開催しました。

会議では、村主座長のあいさつに続いて、関連した動きとして、①自治協として行った移住者・転入者アンケート結果、②吉川工業団地西側エリア民間開発の状況、③クライガルデンの整備提案(志和堀自治協検討案件)等の説明

昨年11月、東広島市吉川財産区の議員改選が行われ新たな体制が作られたことから、吉川自治協は地域課題を共有し今後の連携を深める立場で意見交換の場を持ちました。



【意見交換会の模様】



【活性化PJ Tの模様】

を受けた後、魅力ある“よしかわ”に関心を寄せることで住んでみたいと思えるような地域づくりを行いました。

財産区と自治協で意見交換

会には、財産区から光森(映明)議長、自治協からは村主会長と事務局が出席しました。

吉川工業団地西側開発を含む地域課題、自治協の財政基盤、今後の連携などをテーマに話し合い、自治協としては令和3年度総会のテーマとなる案件について説明しました。

最後に今回を踏まえ、定期的に話し合いの場を設けることを確認し意見交換を終えました。

づくりをテーマに、住宅地化の促進施策、地域活性化施策を切り口としてメンバーで意見交換を行いました。50戸連たん・地区計画の可能性はあと少しで見え始めるので地域の協力が必要な状況に

移住者・転入者アンケート集計

吉川まちづくり自治協議会は、12月に、平成29年以降に吉川地区に移住・転入した13世帯の皆さんを対象に移住・転入者アンケートを実施しました。(回収率77%)
○回答者の属性(省略)
○吉川に移住する前の住所:東広島市内50%
○家族構成
夫婦と子ども:5世帯
夫婦のみ:3世帯
単独世帯:2世帯
○転入契機
住宅の購入:6世帯
就職・転職:1世帯
地域家族同居:1世帯
その他:2世帯
○吉川地域を選んだ理由(複数回答)
ある反面、このことが即住宅地化に連結できないことから、移住希望者が住めるための環境整備が求められる、市の協力・支援、地元企業の協力をお願いしたい等の意見がありました。次回は、協力関係を深めるために、住宅地化・活性化施策について各委員からの持込み提案をベースに話し合うこととしました

ある反面、このことが即住宅地化に連結できないことから、移住希望者が住めるための環境整備が求められる、市の協力・支援、地元企業の協力をお願いしたい等の意見がありました。次回は、協力関係を深めるために、住宅地化・活性化施策について各委員からの持込み提案をベースに話し合うこととしました

自然が豊か:6世帯、家族や親せきがいるから:4世帯、気に入った物件があった:3世帯
通勤に便利:3世帯
出身地である、地域のイメージが良かった、住環境が良い:各2世帯
環境が充実していた、土地が安い、仕事・通学の都合上、災害が少ない、その他:各1世帯
○吉川の住みやすさ
住みやすい:4世帯、どちらかといえば住みやすい:4世帯、どちらかといえば住みにくい:2世帯、住みにくい:なし
○その理由
▽自然も多く静かで、近所の方も温かい。町

までも遠くはない▽吉川の方々が優しく、温かい人柄なところ▽黒瀬方面にも西条方面にもすぐ行ける▽バス路線もあり、商業施設も近い、交通アクセスも便利▽病院や買い物に行くのに自動車が必要▽環境の良さに加えて▽近所の皆様が温かい▽移動手段があれば、仕事・買い物など困ることなく生活が出来る▽車がないと不便だから▽身内が近くに住んでいるから▽商業施設に遠いが静かが良い
○住んでみて困ったこと、地域にあったら良いと思うこと
▽狭い道でスピードを出している車がたまにいる子供がおり怖い▽スーパー・薬局▽乗合タクシー▽都会に住んでいたこともあり下水道都市ガスがあれば▽運動できなくなった時公共交通が利用しづらいため生活困難になる▽ゴミを燃やしたり、野焼きが迷惑で困る▽旧耕作地の除草(刈払い)のせいか猪が荒らして困っている

○移住・定住に関する意見▽美しい自然に恵まれた所で暮らして幸せ。引越して良かった。

吉川まちづくり自治協議会…2月予定表

- 1月30日:第6回理事会
- 2月5日:史跡保存会
- 2月7日:空缶空瓶回収作業
- 2月13日:地区社協あったか交流会
- 2月28日:第2回粗大ゴミ回収-不燃物

※(市):市主催行事 開催日等が変更となる場合があります



元気輝きポイント認定団体

吉川げんき塾:2月スケジュール

毎週木曜日10時~11時30分

於:吉川地域センター

- 1月28日:講演:睡眠は、脳と心の栄養
- 2月4日:体操、脳トレ
- 2月11日:休み
- 2月18日:体操、脳トレ
- 2月25日:DVD体操

参加は、いつでもOKです
まずは見学参加しませんか

よしかわの1枚



令和3年初日の出(吉川豊瀬池周辺)

ひがしひろしま市民活動情報サイトもご覧ください

<http://higashihiroshima.genki365.net/>

“よしかわだより”に関するお問い合わせは、吉川まちづくり自治協議会にご連絡下さい。